



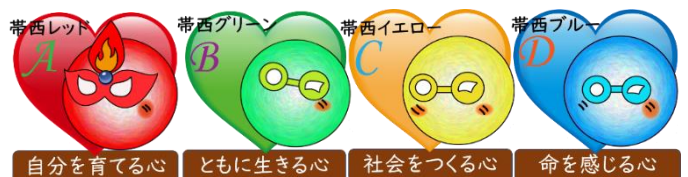
子供たちが帯西レンジャーと共に活躍する学校

毎年、わくわく通信でも紹介していますが、転入の方や新入生もいますので、帯西レンジャーについてお知らせしておきます。

子供たちが日頃から勉強している道徳は、「4つの視点」から学んでいます。その「4つの視点」を「4つの心」として「帯西レンジャー」を使って以下のように表すこととします。このように帯西レンジャーに道徳的な意味付けを行うことで、教師が子供を、あるいは子供同士がわかりやすく心や行動を評価(価値付け)することができるようにしています。

道徳科の4つの視点と帯山西小「4つの心」

- A:主として自分自身に関すること
→帯西レッド「**自分を育てる心**」
- B:主として人との関わりに関すること
→帯西グリーン「**ともに生きる心**」
- C:主として集団や社会との関わりに関すること
→帯西イエロー「**社会をつくる心**」
- D:主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること→帯西ブルー「**命を感じる心**」



例えば右の写真をごらんください。これは、昨年度の歓迎遠足の後に教室をまわっていたときに写した一枚です。どの教室でも子供たちが遠足を振り返ってどんな心が伸びたのか、どんな心を感じたのかを一人一人がネームプレートを貼って説明しています。今日の遠足を終えて、教室では、子供たちがどんな心が伸びたのかを振り返っていました。6年生女子は「1年生の人が何をしたいか聞いたり積極的に話しかけたりしたら、1年生は人見知りだったけど自分から話しかけてくれたからです。」と答え、6年生男子は「1年生にしっかり指示をして、自分でどう行動したらよいか考えることができました。」と答えていました。このように、自分の行動を通して、自分のどの心が伸びたのかを「4つの心」「心のパズル」という心の指標から言葉や文字等で表すことで、子供たちは成長を実感していくのです。さらに、成長を実感する心は一人一人違うことが理解でき、多様性も同時に体感できるのです。



新小学1年生の将来の夢

新1年生も入学して3日目を迎えました。その新小学1年生を対象にした「就きたい職業」ランキング(2024年版)が、ランドセル素材メーカーから公表されました。トップ3は、前年と同じ並びで、4位の「芸能人・歌手・モデル」や7位の「TV・アニメキャラクター」、8位の「医師」などが順位を上げています。逆に、最近人気の職業で、去年9位の「ユーチューバー」は、14位に落ちました。

一方で、今年大きく人気を集めたのは「研究者」で、これは図鑑や生き物番組で好奇心が刺激されていることが要因だとされています。また、男女別の男の子部門で、10位に「ゲームクリエイター」がランクインしています。これは、プログラミング教育の影響だと分析されています。

ランキングの結果から、今どきの新一年生は、夢がしっかりとっていて、驚きました。そして、昭和の頃に将来の夢は「仮面ライダー」と言っていて、今は従業員を抱えて頑張っている友達のことを思い出し、時代の違いに思わず微笑んでしまいました。

順	将来就きたい職業
①	ケーキ屋・パン屋
②	警察官
③	スポーツ選手
④	芸能人・歌手・モデル
⑤	消防・レスキュー隊
⑥	運転士・運転手
⑦	TV・アニメキャラクター
⑧	医師
⑨	研究者
⑩	保育士